

No.	15-6-10	場所	高森町 下市田	次世代への継承キーワード	地域コミュニティ
名称	間ヶ沢川の氾濫で埋没した町道「竜西線」の上流付近			河川	南大島川
災害現象	土砂流出			支流	間ヶ沢川
補足事項					

諏訪市
岡谷市
辰野町
箕輪町
南箕輪村
伊那市
高遠町
長谷村
宮田村
駒ヶ根市
飯島町
中川村
大鹿村
松川町
高森町
豊丘村
喬木村
上村
飯田市
南信濃村
清内路村
阿智村
浪合村
平谷村
下條村
阿南町
売木村
天龍村

概要

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●被害状況の記録：
間ヶ沢洞は北側二ヶ所南側二ヶ所の大崩落あり蜂谷源吾氏宅埋没倒壊、乳牛一頭圧死埋没、庭村源氏氏宅全壊、佐々木寛、林義美両氏宅は濁流屋内に流入、土砂床上に堆積す附近一帯埋没、耕地六反歩余埋没
(「災害の市田郷」災害日誌より)

●体験談：○○
近所の方から避難する様に云われ、お言葉に甘えてと、少しの風呂敷包を用意し、ゆらぐローソクの灯の下で夕食を頂いている時、突然ゴーと云う音と共に裏の北側の松山が崩れ、夢中で外にとび出した時は、横の道はどろ水と一緒に大きな松の木がすごい勢いで流れ行く所でした。その時は生きた心地は無く幼子二人を交へた家族七人、雨の中で二度三度重なる山崩れをただ呆然と眺めて立すくんでいました。土蔵は半分ばかり埋り外も濁水でよりつけず家の中を見る事も出来ず、おろおろするばかりでした。
(「災害の市田郷」より)

記録



間ヶ沢川の氾濫で埋没した町道 1-2 号線（竜西線）の上流付近

出典	「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.20/「災害の市田郷」災害日誌 p.82				
備考					

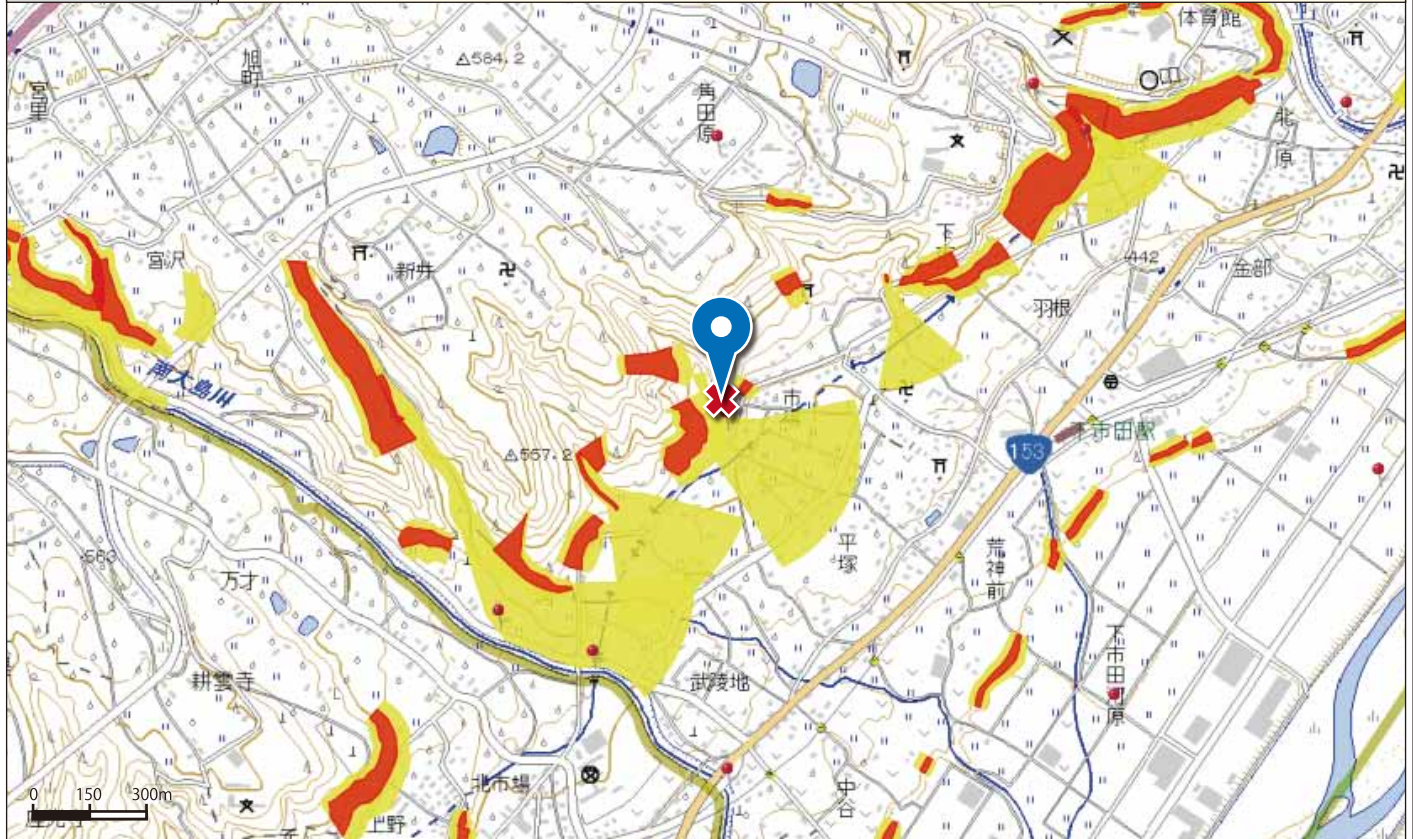
No.	15-6-10	場所	高森町 下市田	緯度	35.544701
-----	---------	----	---------	----	-----------

名称	間ヶ沢川の氾濫で埋没した町道「竜西線」の上流付近			経度	137.867538
----	--------------------------	--	--	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。